

国語分科会における審議状況と今後の主な課題

1. これまでの審議状況

- 国語施策の関係では、問題点整理小委員会において、今後の国語施策の課題について検討、整理し、「国語分科会で今後取り組むべき課題について」（問題点整理小委員会における「意見のまとめ」）を取りまとめ、1月31日に国語分科会です承された。

- 外国人に対する日本語教育施策の関係では、日本語教育小委員会において、日本語教室で活用する教材の例として『「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的カリキュラム案 教材例集』を作成するとともに、外国人の日本語の能力評価の考え方とそれを把握する手法を提案するものとして『「生活者としての外国人」に対する日本語教育における日本語能力評価について』を取りまとめ、1月31日に国語分科会です承された。

2. 今後の主な課題

- 国語施策に関しては、「意見のまとめ」を受け、来期、「課題検討小委員会（仮称）」を設置し、更に深掘りして検討し、諮問事項とするかどうかなどを整理する予定。

- 来期の日本語教育小委員会においては、新たに「日本語指導者の指導能力の評価」について検討を行う予定。